

CIRAS Discussion Paper No. 78

『カラム』の時代Ⅹ

マレー・ムスリムの越境するネットワーク2

坪井 祐司・山本 博之 編著



京都大学東南アジア地域研究研究所



CIRAS Discussion Paper No.78

『カラム』の時代Ⅸ
マレー・ムスリムの越境するネットワーク2

坪井 祐司・山本 博之 編著



京都大学東南アジア地域研究研究所

CIRAS Discussion Paper No.78

TSUBOI Yuji and YAMAMOTO Hiroyuki (eds.)

The Age of *Qalam* IX

Malay Muslim network across the State boundaries 2

©Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University
46 Shimoadachi-cho, Yoshida Sakyo-ku, Kyoto-shi,
Kyoto, 606-8501, Japan

TEL: +81-75-753-7302

FAX: +81-75-753-9602

March, 2018

目次

序『カラム』の時代区

マレー・ムスリムの越境するネットワーク 2

坪井 祐司 4

『カラム』からみたマラヤの脱植民地化

坪井 祐司 9

花嫁の自立

ナドラの結婚からみる1950年代シンガポールの女性の地位

光成 歩 21

アブドゥッラー・バスマーの経歴

山本 博之 37

マレーシアのダアワ運動と高等教育機関の

イスラーム化に対するインドネシアのインパクト

インドネシア人活動家イマドゥディン・アブドゥルラヒムを事例に

野中 葉 41

資料編「千一問」試訳 50

執筆者一覧

坪井 祐司(つばい ゆうじ)

東洋文庫研究員。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。専門はマレーシア近代史。研究テーマは英領期のマラヤにおけるマレー民族の形成の過程。主な論文は「1930年代初頭の英領マラヤにおけるマレー人性をめぐる論争：ジャウイ新聞『マジュリス』の分析から」(『東南アジア歴史と文化』45、2016年)。

光成 歩(みつなり あゆみ)

京都大学東南アジア地域研究研究所連携助教。専門はマレーシア地域研究／イスラーム司法制度。研究テーマはマレーシアにおけるイスラーム司法制度の展開と「改宗問題」。主な論文は「イスラーム法制と女性憲章：シンガポールにおけるムスリムの婚姻法改革」(『マレーシア研究』第3号、2014年)など。

山本 博之(やまもと ひろゆき)

京都大学東南アジア地域研究研究所准教授。専門はマレーシア地域研究／現代史。研究テーマは、イスラーム教圏東南アジアの民族と政治、アジアの災害対応、地域研究方法論。著書に『脱植民地化とナショナリズム——英領北ボルネオにおける民族形成』(東京大学出版会、2006年)、編著書に *Bangsa and Umma: Development of People-grouping Concepts in Islamized Southeast Asia* (Kyoto University Press, 2011)がある。

野中 葉(のなか よう)

慶應義塾大学総合政策学部専任講師。専門はインドネシア地域研究。研究テーマは現代インドネシア社会におけるイスラームの受容と広がり。著書に『インドネシアのムスリムファッション——なぜイスラームの女性たちのヴェールはカラフルになったのか』(福村出版、2015年)。主な論文に「イスラーム的価値の大衆化：書籍と映画に見るイスラーム的小説の台頭」(倉沢愛子編著『消費するインドネシア』、慶應義塾大学出版会、2013年)など。

CIRAS Discussion Paper No.78

坪井祐司・山本博之 編著

『**カラム**』の時代Ⅸ— マレー・ムスリムの越境するネットワーク 2

発 行 2018年3月

発行者 京都大学東南アジア地域研究研究所

京都市左京区吉田下阿達町46 〒606-8501

電話: 075-753-7302 FAX: 075-753-9602